

第4回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日時 平成29年9月26日(火) 15:00~16:50
2. 出席者 植野康夫委員、筒井寛昭委員、中川直子委員、中室雄俊委員
加藤学長、宮下理事(教育)、岩井理事(総務)、和田副学長(企画)、佐野副学長(研究)
陪席者 高橋副学長(国際交流・地域連携担当)、会計担当監事、業務担当監事

3. 議題

◎審議事項

- 1 国立大学法人奈良教育大学基金に関する規則の制定について(案)(資料1)
- 2 平成29年度人事院勧告等の取扱いについて(方向性)(案)(資料2)

◎報告事項

- 1 平成30年度概算要求額の伝達(文科省)について(案)(資料3)
- 2 国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書について(資料4)

◎その他

4. 議事

◎審議事項

- 1 国立大学法人奈良教育大学基金に関する規則の制定について
総務担当理事より、資料1に基づき、国立大学法人奈良教育大学基金に関する規則の制定について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○主な意見は次のとおり

- ・ 税額控除制度について、対象は個人の寄付となる。
- ・ 基金は1本化し、用途を分けて運用する。
- ・ 今後、寄付者を維持することができるのか。→ 維持できるように周知等を行っていく。

- 2 平成29年度人事院勧告等の取扱いについて(方向性)(案)
総務担当理事より、資料2に基づき、平成29年度人事院勧告等の取扱いについて(方向性)(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
なお、今後、人事院勧告に添う形で組合と交渉していく予定であることの説明があった。

◎報告事項

- 1 平成30年度概算要求額の伝達(文科省)について(案)
総務担当理事より、資料3に基づき報告があった。
- 2 国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書について
学長より、資料4に基づき、本学の現状について報告があった。
○主な意見は次のとおり
 - ・ 地域の人を育てる大学を求めている。今のままの現状で、やり遂げられる方法はないのか。
 - ・ 教育委員会と大学が連携していかないといけない。
 - ・ 奈良の文化にもっと接して欲しい。
 - ・ 自律的に物を考えることができなくなっている子どもが多い。
 - ・ 日本誕生の地である奈良で、奈良の良さを大学生に学んでもらい、奈良の子どもたちに教育してほしい。
 - ・ 地域と社会を学ぶつながりが大切ではないか。

- ・自分の国のことを考える人はどこまでいるのか。日本に住んでいる意味がわからずに過ごしている人が多い。
- ・大きな大学より、小さな大学がいいのではないか。
- ・長野県は、統合という時代に県立大学を立ち上げており、今は小さい大学が光を放っている。
- ・地元のことをちゃんと学ばせる大学が必要。